

1 学校教育目標

○考える子 ○元気な子 ○がんばる子 ○助け合う子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

| | |
|---------|--|
| ○学校像 | ○児童も教員も、けじめ・気配り・根気（3K）で生活する学校 ○児童・保護者・地域から信頼され、児童が安心して生活できる明るい学校 ○教職員が協働し、充実感と誇りをもてる学校 |
| ○児童・生徒像 | ○児童に目指してほしい「扇っ子」の姿 ・「おもいやり」の心を大切にする児童、「うんどう」して体を鍛える児童、「ぎもん」を大切にし、自ら学ぶ児童 |
| ○教師像 | ○情報を共有し、理解と協働のもと、組織的に対応できる教師 ○主体性と創造性を尊重し、専門性を発揮する教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学力向上】

日常的な授業改善、朝学習や放課後補習等の組織的な取組によって児童の学力定着・向上を図ってきたが、R5区学力調査における2教科通過率はともに目標の80%まであとわずかという状況となっている。児童が落ち着いて学習できる環境づくりを徹底するとともに、教員が自ら授業力を向上させていくことができるOJTの設定、そして組織的な学力向上の取組のさらなる充実・工夫に努めていく。

【自己肯定感の醸成】

学習面だけでなく、日常生活における行動面や体育的・文化的行事面で活躍した児童の称賛の場を意図的に設定していくことで、多くの児童が自分に自信をもち、自分のことが好きになっていくことができるよう、学校・家庭・地域で連携していく必要がある。

【教員の授業力向上】

児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、日常的な授業改善に努める教員集団を目指していくとともに、効果的なOJTや研究授業の実践に取り組んでいかなければならない。

4 重点的な取組事項

| | 内 容 | 実施期間（年度） R:令和 | | | | |
|---|----------------|---------------|----|----|----|----|
| | | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 |
| 1 | 学力向上アクションプラン | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 豊かな心とたくましい体の育成 | | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 教師の授業力向上 | ○ | ○ | ○ | ○ | |

5 令和6年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 学力向上アクションプラン | | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------|-----------------------------|-----------------------|--|--------------------------|---------------------------------|------|-------------|-------------|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 (目標通過率) | | 実施結果 (通過率結果) | | コメント・課題 | | 達成度 ◎○△● | |
| 基礎的・基本的な学力の定着 学びに向かう力の育成 | | 区学力調査目標値通過率 80%以上 | | | | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | |
| 新・継 | アクションプラン | 対象学年 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |
| 継続 | 朝学習 パワーアップ タイム | 全学年 国・算 読書 | 火 木 金 始業前 15 分間 | 【指導体制】 担任 【ねらい】 復習・確認 【使用教材】 AI ドリル・プリント | 1 カ月 1 回 ミニテスト | ミニテスト 正答率 70%以上 の児童 80%以上 | | | |
| 継続 | 補習教室 | 全学年 国・算 | 放課後 | 【指導体制】 担任、専科、管理職 【ねらい】 指導中内容の定着 【使用教材】 AI ドリル等 | 定着度確認 テスト 12 月・2 月 | 目標値通過率 85%以上 | | | |
| 継続 | 家庭学習習 慣の定着 | 全学年 | 毎日 | 【ねらい】 学年に応じた目標時間設 定(手引き発行) 保護者の理解・協力 | 宿題提出 状況調査 11 月 | 宿題提出率 90%以上 | | | |
| 継続 | サマー スクール | 全学年 国・算 各学年 10 名程度 | 夏休み 10 日間 | 【指導体制】 担任、専科、管理職 【ねらい】 ・当該学年の復習 ・既習内容におけるつま ずきの解消 【使用教材】 AI ドリル、プリント等 | 定着度確認 テスト 9 月 | 目標値通過率 85%以上 | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|-------------|-------------|------------|--|-----------------------|------------------------------------|--|--|--|
| 継続 | かけ算検定 | 2年生～ 6年生 | 給食前 放課後 | 【指導体制】 担任、専科、管理職 【ねらい】 ・2年生…九九の定着 ・3年以上…計算力向上 【使用教材】 プリント | かけ算検定日 12月以降 | 2年生以上 全員合格 | | | |
| 継続 | MIM指導 | 1年生 | 通年 | 【指導体制】 1年担任 【ねらい】 ・語彙の獲得 ・なめらかな音読 【使用教材】 プリント、デジタルMIM | MIM実施 毎月末 | 1月時点の 1STステージ 85%以上 | | | |
| 継続 | 音読指導 | 全学年 | 通年 | 【指導体制】担任 【ねらい】読解力向上 【使用教材】教科書 | 音読聞き取り | 単元テスト 正答率80%以上 | | | |
| 継続 | 読み聞かせ 読書 | 全学年 | 通年 | 【指導体制】担任、図書 館支援員、図書ボラ 【ねらい】 語彙、知的好奇心涵養 【使用教材】記録カード | 読書記録 (題名・ペー ジ数) | ・1～3年 80冊/年 ・4～6年 6000頁/年 | | | |

| 重点的な取組事項－２ | | 豊かな心とたくましい体の育成 | | | |
|-----------------------------|---|--|------|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 自己肯定感と自他を思いやる意識の向上 体力の向上 | | 自己肯定感調査「自分にはよいところがある」で85%以上 体力調査 区平均以上の項目70% | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 自己肯定感の向上 | 「自分が好き」 自己評価80%以上 「自分にはよいところがある」 自己評価85%以上 | ・教育活動全体を通じた意図的な称賛の機会の設定 ・クラブ活動、委員会の充実 ・課外活動への参加（区小学校スポーツ大会、あだち環境かるた大会、百人一首大会等） | | | |
| 人権教育の充実 | 学校生活アンケート 肯定的評価85%以上 | ・ふれあい月間の取組年3回 ・「特別の教科道徳」授業の充実（他者理解、思いやり、生命尊重） | | | |
| 基本的な生活習慣の定着 | 「早寝・早起き・朝ごはん」の達成率85%以上 あいさつ名人90%以上 | ・養護教諭、栄養士による食育指導 ・「生活がんばりカード」年3回 ・「あいさつ週間」年6回以上 | | | |
| 様々な体験活動の実施 | 地域と連携した体験活動 年3回 外部講師による出前授業 年3回以上 | ・地域の田畑をお借りした農業体験、花の寄せ植え体験等 ・ドローンを活用したプログラミング学習等 | | | |

| | | | | | |
|----------------|---|---|--|--|--|
| <p>特別活動の工夫</p> | <p>「学校は楽しい」 自己評価 90%以上</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学級での当番・係活動の充実 ・豊かな話し合いのもと児童が主体的に進めていく学級会の工夫 ・兄弟班活動 年3回 ・QU 調査結果の分析と活用 | | | |
| <p>体力向上</p> | <p>「運動が好き」 自己評価 85%以上 体力調査 区平均以上の項目 70%</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体力調査の結果をもとにした授業改善 ・体育的行事の充実(持久走、なわとび) ・外遊びの奨励 | | | |

| 重点的な取組事項－3 | | 教師の授業力向上 | | | |
|---------------------------|--------------------------------------|---|------|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 児童が「分かった」「できた」と実感できる授業の実践 | | 「勉強したことが分かる」の回答 95%以上 | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 日常的な授業改善 | 管理職による授業観察 年3回以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業観察後の指導助言 (通年) ・自己申告面接(年3回) | | | |
| OJTの充実 | 計画的なOJT年10回 自主的实施年5回以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭、主任教諭を講師とした多岐に渡る内容についての研修の実施 ・管理職も講師を務め、専門性向上を図った研修の実施 | | | |
| 小中連携の取組 | 年3回の研究授業 年2回の全体研修会 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学びに向かう授業づくり ・小中教員の専門性を生かした授業研究 ・9年間の系統性を鑑みた指導計画 | | | |
| 教科指導専門員との連携 | 管理職と教科指導専門員との情報共有(月1回以上) 組織的な若手育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導専門員から若手教員への事前事後指導 ・管理職、主幹、主任教諭による日常的な指導助言 | | | |

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）